

## NY マーケットレポート (2017年2月7日)

NY 市場では、米国債利回りの上昇や、ダウ、ナスダックが最高値を更新したことを受けて、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後は株価が上げ幅を縮小したことや、米債券利回りの低下、また原油価格が下落したことも加わりドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。ただ、終盤にかけてはドルを買い戻す動きとなり、ドル円・クロス円も値を戻す動きとなった。一方、英中銀の金融政策委員会メンバーのフォーブス委員が、「英国経済のリスクは減退している」、「近く利上げが必要になる可能性がある」と発言したことを好感して、英ポンドは主要通貨に対して堅調な動きが続いた。

### 2017年2月7日(火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.11	112.14	111.60
EUR/JPY	119.76	120.23	119.54
GBP/JPY	139.36	139.65	139.03
AUD/JPY	85.63	85.89	85.24
EUR/USD	1.0682	1.0750	1.0681

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.50	112.09
EUR/JPY	120.04	119.58
GBP/JPY	139.48	138.55
AUD/JPY	85.69	85.45
EUR/USD	1.0686	1.0656

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.33	112.58	111.81
EUR/JPY	120.02	120.12	119.65
GBP/JPY	140.54	140.59	138.88
AUD/JPY	85.73	85.76	85.40
NZD/JPY	82.11	82.13	81.83
EUR/USD	1.0685	1.0707	1.0663
AUD/USD	0.7632	0.7646	0.7606

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20090.29	+37.87
S&P500	2293.08	+0.52
NASDAQ	5674.22	+10.67
日経225 (CME)	18950	+95
トロント総合	15498.80	+41.86
ボルサ指数	46728.95	-496.15
ボベスパ指数	64198.90	+205.96

#### 2/8 経済指標スケジュール

08:50 【日本】日銀金融政策決定会合(主な意見公表)  
 08:50 【日本】12月貿易収支  
 08:50 【日本】12月経常収支  
 13:30 【日本】1月企業倒産件数  
 14:00 【日本】1月景気ウォッチャー調査  
 16:00 【トルコ】12月鉱工業生産  
 16:30 【フランス】1月企業センチメント指数  
 17:30 【スウェーデン】12月個人消費  
 19:00 【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)  
 21:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数  
 22:15 【カナダ】1月住宅着工件数  
 05:00 【ニュージーランド】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1236.10	+4.00
NY 原油	52.17	-0.84
CMEコーン	368.50	+4.75
CBOT 大豆	1042.75	+6.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.165%	1.153%
3年債	1.416%	1.410%
5年債	1.850%	1.854%
7年債	2.177%	2.189%
10年債	2.397%	2.415%
30年債	3.024%	3.057%

ドイツ10年債	0.350%	0.370%
英国 10年債	1.289%	1.317%

#### 2/8 主要会議・講演・その他予定

・米10年債入札

## NY 市場レポート

### 〈企業決算〉

#### 米GM

第4四半期の調整後1株利益は1.28ドル（予想1.17ドル）

22:30

### 〈経済指標の結果〉

12月米貿易収支 -443億USD（予想 -450億USD・前回 -457億USD）

前回発表の-452億USDから-457億USDに修正



出所：Bloomberg

### 指標結果データ

#### 〈米貿易収支〉

	12月	11月	10月	9月	8月	前年同月
入出超	-442.6	-457.3	-427.1	-365.1	-41.00	-414.9
輸出	1906.8	1856.5	1860.2	1895.1	1877.3	1830.7
輸入	2349.5	2313.8	2287.3	2260.3	2287.2	2245.6

（単位 億ドル）

12月の米貿易収支では、赤字額が国際収支ベースで前月比-3.2%の442億6200万ドルと3ヵ月ぶりに縮小した。輸出の増加が輸入の増加を上回ったことが要因となった。

①2016年の年間の貿易赤字は5022億5200万ドルと、前年（5003億6100万ドル）から0.4%拡大し、3年連続の拡大となった。

②輸出総額は+2.7%の1906億8800万ドルと3ヵ月ぶりの増加となり、2012年9月以来の増加幅となった。輸入総額は+1.5%の2349億5000万ドルと3ヵ月連続のプラスとなった。

③国・地域別では、対日赤字が+10.7%、対中赤字は-9.0%、対EU赤字は-17.1%となった。2016年の年間ベースでは、対中赤字が前年比-5.5%の3470億3800万ドル、対EUは-5.9%の1463億4000万ドル、対日赤字はほぼ変わらずの689億3800万ドルだった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12月カナダ国際商品貿易 9.2億CAD (予想 2.0億CAD・前回 10.1億CAD)  
 前回発表の5.3億CADから10.1億CADに修正

23 : 00

◀ 要人発言 ▶

英中銀の金融政策委員会メンバーのフォーブス委員

- ・「英国経済への悪影響は減退している」
- ・「間もなく利上げが必要になる可能性」



0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米JOLT労働調査[求人件数] 550.1万件 (予想 556.9万件・前回 550.5万件)  
 前回発表の552.2万件から550.5万件に修正



## 指標結果データ

### ◀ JOLT 労働調査 ▶

12月・・・11月・・・10月・・・9月・・・8月・・・7月・・・6月

求人数・・・550.1・・・550.5・・・545.1・・・563.1・・・545.3・・・583.1・・・564.3

12月の米求人数は、市場予想の558万件を下回る550.1万件となり、前月の550.5万件からも減少となった。12月に雇用された労働者は525万人と、前月の521万人から4万人増加。一方、自発的離職者は約298万人で、前月の308万人から10万人減少した。離職率は2.0%で、前月の2.1%を下回った。解雇者は164万人（前月162万人）と、昨年8月以来の高水準。

0:00

### ◀ 経済指標の結果 ▶

1月カナダ Ivey 購買部協会指数 57.2（前回 60.8）



出所：Bloomberg

0:35

### ◀ 要人発言 ▶

#### カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「強いドルはインフレ抑制を支援する」
- ・「金融政策は引き締め過ぎより緩和し過ぎの方が良い」
- ・「多少緩和的な金融政策は適切」
- ・「労働コストは、まだインフレ上昇を示唆していない」

### ◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、トランプ米政権の政策やフランス大統領選を巡る不透明感から、長期債を中心に安全資産とされる米国債の逃避買いが続いた。ただ、米3年物国債入札を控えてポジション調整の売りが出た。

午前の利回りは、30年債が3.04%（前日3.06%）、10年債が2.40%（2.42%）、7年債が2.18%（2.19%）、5年債が1.85%（1.85%）、3年債が1.41%（1.41%）、2年債が1.16%（1.15%）。

3:00

《米財務省3年債入札》

最高落札利回り・・・1.423%（前回 1.472%）  
 最低落札利回り・・・1.188%（前回 1.350%）  
 最高利回り落札比率・・・13.03%（前回 86.68%）  
 応札倍率・・・2.78倍（前回 2.97倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績拡大への期待で買いが先行した。ただ、原油価格の下落などを嫌気した売りも出て上値の重い動きとなった。

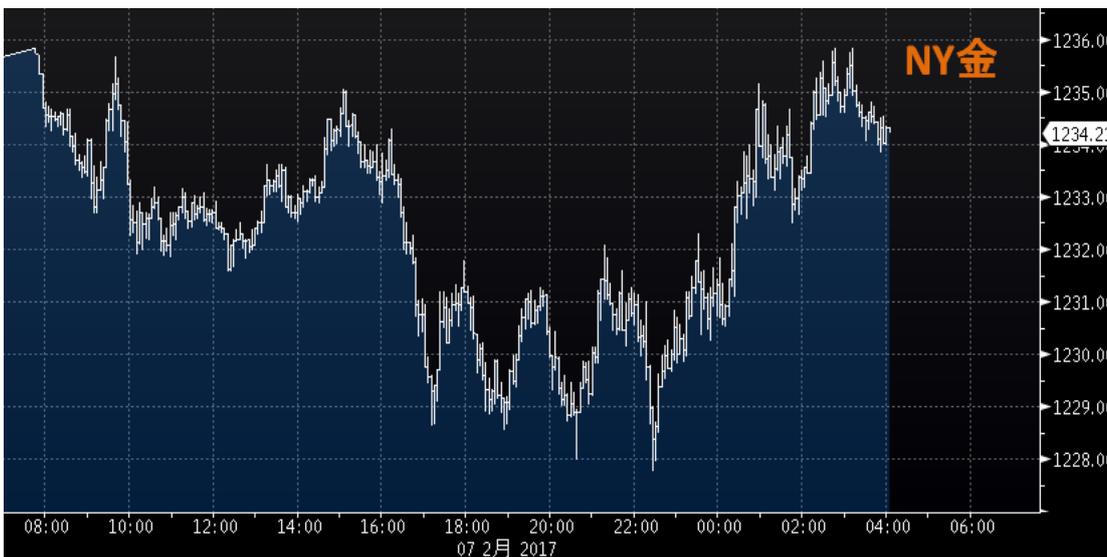


出所：Bloomberg

《NY金市場》

NY金は、中心限月が前日比4.00ドル高の1オンス=1236.10ドルで取引を終了した。

NY金は、ドルがユーロなどに対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金を売る動きが先行したが、その後はトランプ米大統領の政策運営や、フランス大統領選など欧州の政局を巡る不透明感から安全な資産としての金の需要が高まった。終値ベースでは、昨年11月10日以来、約3ヵ月ぶりの高値水準となった。

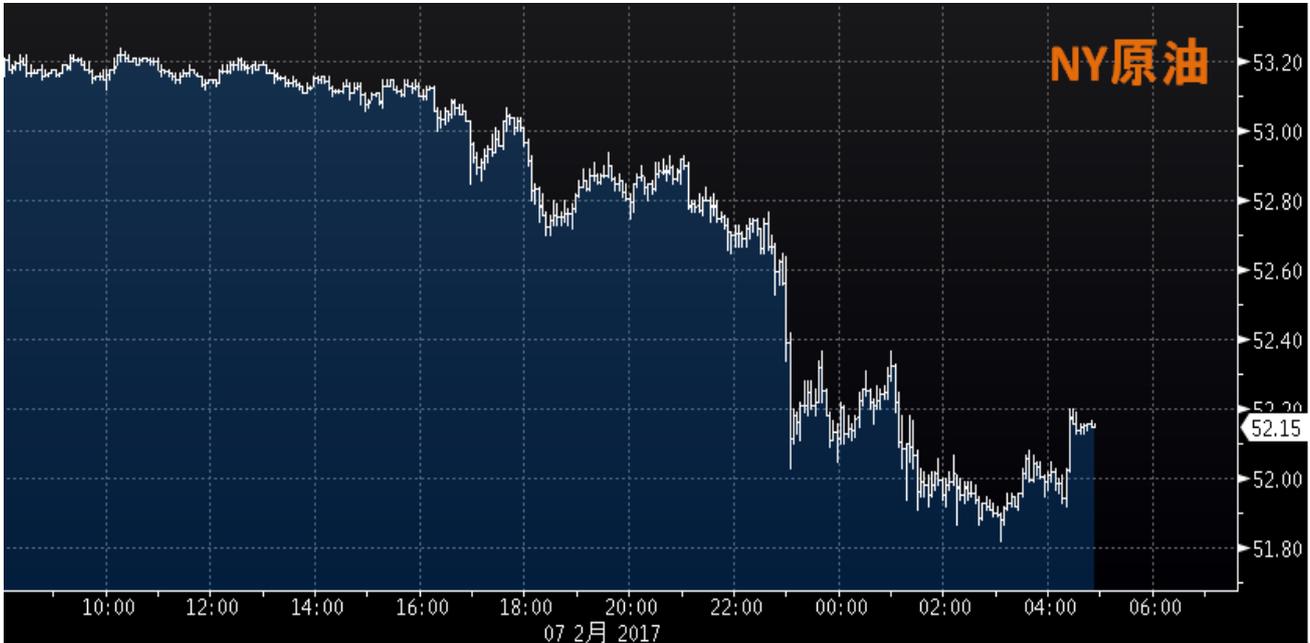


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.84 ドル安の 1 バレル=52.17 ドルで取引を終了した。

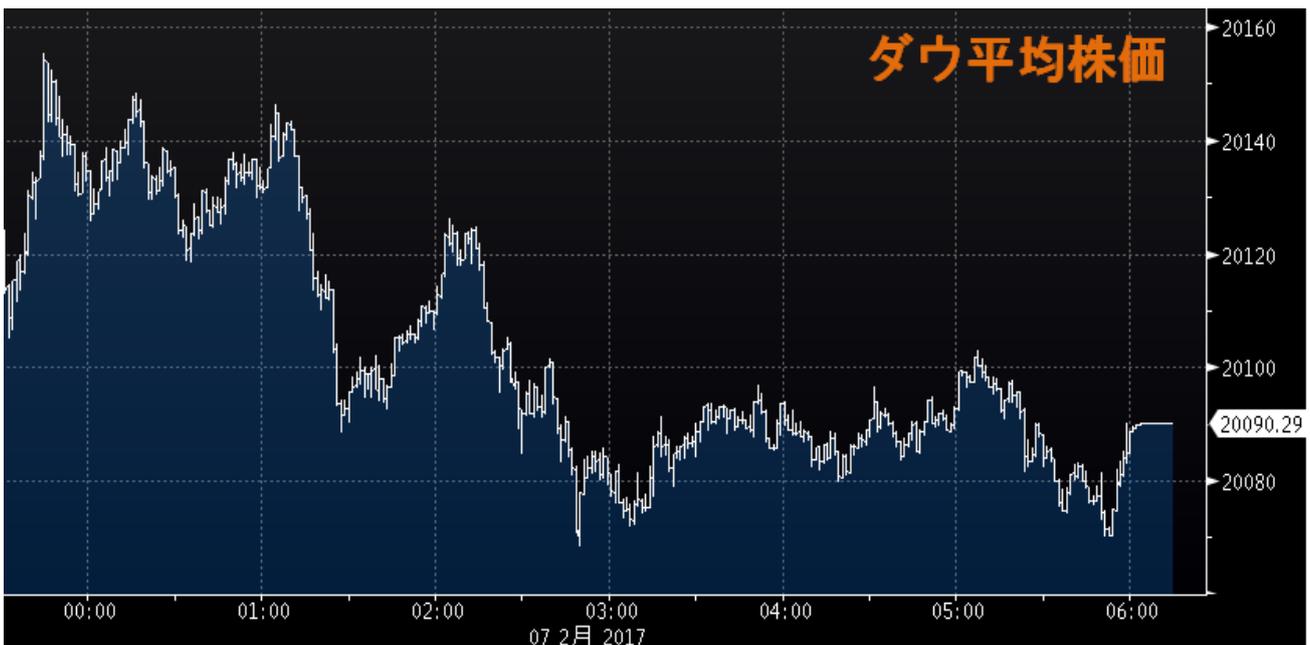
NY 原油は、米国産原油の在庫積み上がりに対する警戒感から売りが加速した。また、ドルがユーロなどに対して上昇し、ドル建ての原油の割高感が出たことも圧迫要因となった。終値ベースでは、1 月中旬以来約 3 週間ぶりの安値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、英国やドイツなど欧州主要株価が堅調な動きとなったことを受けて、投資家心理が改善し、主要株価は序盤から買いが先行した。ただ、その後は終盤にかけて上げ幅を縮小する動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤に前日比 102 ドル高まで上昇し、取引時間中の最高値を更新した。しかし、その後は上げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

## ◀外国為替市場▶

外国為替市場は、欧州市場からの流れを引き継ぎ、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、その後は最高値を更新したダウやナスダックが上げ幅を縮小する動きとなったことや、米債券利回りの低下、原油価格の下落も加わり、円買いが優勢となった。下げ一巡後は買い戻しの動きが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。